

令和4年 第3回定例会

一般質問文書表

稲城市議会

通告番号	氏名	質問項目 (17人、58項目)	備考
1	北浜 けんいち	<ul style="list-style-type: none"> 1 市有財産を活用した財源確保について 2 こども家庭庁設置及びこども基本法について 	
2	山岸 太一	<ul style="list-style-type: none"> 1 高齢者の暮らしを支えるボランティア団体への支援について 2 将来にわたって市民が安心して暮らし続けられることができる平尾団地再生について 3 子育て支援としてのすべての子どもへの医療費助成の実施について 4 心の病や障がいを持っている人と地域の共生について 	
3	つ の じ 寛 美	<ul style="list-style-type: none"> 1 ナラ枯れによる対応策について 2 観光事業の更なる活性化について 3 子ども読書活動推進について 4 良好な親子関係を築くための支援について 	
4	村 上 洋 子	<ul style="list-style-type: none"> 1 「こども基本法」に謳われる「子どもの権利」についての普及啓発について 2 子どものいる家庭の離婚に関する支援について 3 不登校児童・生徒への支援について 4 プラスチック廃棄物の再資源化について 	
5	川 村 あ や	<ul style="list-style-type: none"> 1 稲城市の農業を守り・育て・拡めることについて 2 稲城長沼駅前高架下の利用について 3 道路通報システムについて 	
6	角 田 政 信	<ul style="list-style-type: none"> 1 防災対策について 2 災害時における避難所運営について 3 救急搬送について 4 新型コロナウイルス感染症陽性者の状況について 	
7	市 瀬 ひ さ 子	<ul style="list-style-type: none"> 1 住み慣れた地域で自分らしく暮らし続ける、安心の環境づくりについて 2 自治体DX推進に伴う、市民に寄り添った「ご遺族支援コーナー」の開設について 3 障害の方やがん患者に寄り添う、更なる安心・安全につながる支援について 	
8	岡 田 ま な ぶ	<ul style="list-style-type: none"> 1 新型コロナ第7波から市民の生命を守る取り組みについて 2 都立高校入試の英語スピーキングテスト(ESAT-J)導入の問題点について 3 学校給食の無償化について 4 大学の奨学金返還支援について 5 iバス、路線バスの拡充について 	
9	坂 田 た け ぶ み	<ul style="list-style-type: none"> 1 小中学校のプールの在り方について 2 不登校児童・生徒への支援について 3 南多摩尾根幹線及び鶴川街道の整備について 	
10	岩 佐 ゆ き ひ ろ	<ul style="list-style-type: none"> 1 なしのすけ商品券デジタル版について 2 市内の分譲マンション、実態調査について 	
11	梶 浦 み さ こ	<ul style="list-style-type: none"> 1 母子健康手帳の内容充実と「おやこ(親子)健康手帳」等の通称使用について 2 オリンピック・パラリンピックのレガシーの成果と継承について 3 若葉台「プラザふれあいロード」等の市道を活用した「ほこみち(歩行者利便増進道路)」のまちづくりについて 	

12	田島 きく子	<ul style="list-style-type: none"> 1 生理の貧困について 2 補聴器助成による加齢性難聴者への支援について 3 稲城市環境基本計画の実践による気候変動対策の推進について 4 物価高から暮らしを守るためのゴミ袋の値下げについて 	
13	中 田 中	<ul style="list-style-type: none"> 1 震災におけるマンション防災・地域防災について 2 令和2年度稲城市財政白書について 	
14	武田 まさひと	<ul style="list-style-type: none"> 1 多7・5・2号公園通り梨の道線と多7・5・3号宿榎戸線を含む榎戸を中心とした道路の交通安全対策について 2 持続可能な里山保全について 3 公立小学校におけるコロナ対策について 	
15	榎本 久春	<ul style="list-style-type: none"> 1 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う高齢者福祉施設・事業所等の利用者や職員への対応について 2 ナラ枯れ被害に対する取り組みについて 	
16	いそむら あきこ	<ul style="list-style-type: none"> 1 公民館の多様な活用について 2 産後支援の拡充について 3 小中学校の特別教室への空調設備の設置について 4 小中学校の学校指定用品について 5 生命の安全教育教材の活用について 	
17	鈴木 誠	<ul style="list-style-type: none"> 1 防災に関する稲城市の取り組みについて 2 民生・児童委員の担い手確保について 3 稲城第二中学校校舎改修工事について 4 南山地域の自治会、自主防災組織の結成について 5 コロナ禍からの市内各種行事復活について 	

通告番号	会 派 名	氏 名
1	新政会	北浜けんいち

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
1	<p>市有財産を活用した財源確保について</p> <p>新型コロナウイルス、物価高騰、ふるさと納税による税収への影響を考えた時、新たに税収を確保する政策が必要であると考えます。</p> <p>そこで、市有財産等を活用した新たな財源を確保する政策について市の見解を伺います。</p> <p>(1) 現在のネーミングライツの現状と今後の新たな取り組みについて見解を伺います。</p> <p>① 現状について伺います。</p> <p>② 新たにネーミングライツの対象として可能な施設として、総合体育館、総合グラウンド、中央文化センター、振興プラザ、市営プール等を検討する事に対する見解を伺います。</p> <p>(2) 市有地や市有施設を活用した新たな取り組みについて伺います。</p> <p>① 市有地の利活用について見解を伺います</p> <p>② 市有施設のスペースの利活用について見解を伺います。</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
	<p>(3) 市施行 JR 南武線三駅周辺土地区画整理事業の権利者のご協力により移転後空き地となっている土地の利用について伺います。</p>	
	<p>(4) 市営プールの西側の土地活用について見解を伺います。</p>	
	<p>① キッチンカーの誘致について市の見解を伺います。</p>	
	<p>(5) 北緑地公園等の土地活用について</p>	
	<p>① 民間の飲食施設等の誘致について見解を伺います。</p>	
2	<p>こども家庭庁設置及びこども基本法について</p>	
	<p>本年6月15日に「こども家庭庁設置法」「こども家庭庁設置法の施行に伴う関係法律の整備に関する法律」及び「こども基本法」が成立しました。これに伴い、こども基本法で示され基本理念等に基づき政策を推進するために、令和5年4月1日にこども家庭庁が創設されます。</p>	
	<p>そこで、こども家庭庁の創設とこども基本法について市の見解を伺います。</p>	
	<p>(1) こども家庭庁の創設に対する市の評価と取り組むべき課題等について見解を伺います。</p>	

通告番号	会 派 名	氏 名
2	日本共産党	山岸太一

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
1	<p>高齢者の暮らしを支えるボランティア団体への支援について</p> <p>高齢者の居場所づくりや助け合い活動を行っているボランティア団体の中から、今のままでは活動継続が厳しいという声が出されています。高齢者の暮らしを支えてくれていた、ボランティア団体へのさらなる支援を求める立場から質問します。</p> <p>(1) ボランティア・助け合い活動団体の現状について</p> <p>① 市内で高齢者の介護予防や居場所づくり、助け合い活動を行っている市民グループやNPO等の数について聞きます。</p> <p>② それらの市民グループやNPO等から今後の活動継続について、市に寄せられている意見や要望について聞きます。</p> <p>(2) ボランティア・助け合い活動団体への支援について</p> <p>① 市民グループやNPO等へ市として行っている支援内容について聞きます。</p> <p>② 市民グループやNPO等への支援の拡充について認識を聞きます。</p>	
2	<p>将来にわたって市民が安心して暮らし続けられることができる平尾団地再生について</p> <p>平尾団地再生の具体的な議論が進む中で、住民からは様々な声が出されています。住民の不安を解消し、誰もが安心して暮らしていくことのできる街を作っていく立場から質問します。</p> <p>(1) 高齢化するマンションの現状について</p> <p>① 「高経年マンション」の定義と、それをめぐる課題について聞きます。</p> <p>② 市内の築40年を超えたマンションの状況について聞きます。</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
3	<p>(2) 平尾近隣公園の今後について</p> <p>①平尾近隣公園が設置された経過と、地域における位置づけについて聞きます。</p> <p>②「平尾団地の将来まちづくり構想」内での平尾近隣公園の位置づけについて聞きます。</p> <p>③将来的な平尾近隣公園の改修やリニューアルについて認識を聞きます。</p> <p>(3)「平尾団地再生基本構想図」作成状況について</p> <p>①基本構想図の作成の進捗状況について聞きます。</p> <p>②基本構想図の作成の今後の見通しについて聞きます。</p> <p>子育て支援としてのすべての子どもへの医療費助成の実施について</p> <p>高校生までの医療費助成について、今議会で条例提案がされています。23区ではすべての子どもが完全無料となる方針が出されるなど、同じ都民でありながら格差もあらわになっています。子育て支援の一つとして、すべての子どもたちへの医療費助成の実施を求める立場から質問します。</p> <p>(1)小中学生の医療費助成について、所得制限によって対象外となっている子どもの数を聞きます。</p> <p>(2)小中学生の医療費助成の所得制限の撤廃について認識を聞きます。</p>	市長答弁を 求める
4	<p>心の病や障がいを持っている人と地域の共生について</p> <p>国は精神疾患や精神障害を持っている人を施設から地域生活へと移す政策を推進しています。当事者と地域住民がともに暮らしていくためのさらなる支援を求める立場から質問します。</p> <p>(1)地域生活移行政策について</p> <p>①精神障害者の地域生活への移行に関する国の政策概要について聞きます。</p> <p>②「精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に係る検討会報告書」の主な内容について聞きます。</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
	<p>(2) 誰もが安心して住み続けるための支援について</p> <p>① 精神疾患患者や精神障害者が何らかの形で関わって発生した近隣トラブルや苦情の発生状況について聞きます。</p> <p>② 心の病や障がいがあっても、地域の中で住み続けていくための支援の在り方について認識を聞きます。</p>	

通告番号	会 派 名	氏 名
3	公 明 党	つ の じ 寛 美

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
1	<p>ナラ枯れによる対応策について</p> <p>若葉台地域の住民から公園内の樹木が立枯れをしてるので、調査の依頼とともに、台風も頻繁に起こることから、転倒事故等における安全対策のご相談がありました。担当者からは、ナラ枯れにより枯死した樹木で、伐採を予定しているとの事でした。市内でもナラ枯れ被害が確認され、令和2年度より公園や緑地などの市有地において、今回のように枯死した樹木を伐採するなどの対策を進めている事は認識しています。そのような中、市内のナラ枯れについて伺います。</p> <p>(1)公園や緑地などにおいて、ナラ枯れの被害状況や枯死した樹木について伺います。</p> <p>(2)現状のナラ枯れによる被害拡大防止に向けた取り組みについて伺います。</p> <p>(3)今後のナラ枯れ対策について伺います。</p>	
2	<p>観光事業の更なる活性化について</p> <p>稲城市観光協会も発足して稲城ロケーションサービスなど観光におけるアピールが進んでいます。ドラマ撮影などで、稲城市地域の活性化にもなっていると思います。</p> <p>(1)稲城ロケーションサービスについて</p> <p>①現状について</p> <p>②課題と今後の取り組みについて</p> <p>(2)自転車のまち稲城を象徴した「オネカン戦士</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
	稲城ペダリオン」のモニュメントが設置されて	
	ます。	
	①ペダリオンを活用したイベントについて伺い	
	ます。	
	②「オネカン戦士稲城ペダリオン」の看板設置	
	について伺います。	
	(3)なしのすけの時計台を各駅に設置されてます	
	が、まだ駅に設置されていないところがあります。	
	なしのすけの補修工事も大事だと思いますが、不	
	公平だとの声もあることから今後の取り組みを	
	伺います。	
3	子ども読書活動推進について	
	稲城市子ども読書活動推進会議に出席致しまし	
	た。第三次稲城市子ども読書活動推進計画、令和	
	3年度推進状況報告を伺いました。	
	(1)小学校、中学校の読み聞かせなど読書活動に	
	向けた取り組みについて伺います。	
	(2)小学校、中学校の学校図書館の購入冊数の状	
	況について伺います。	
	(3)図書館のイベント実施や子ども読書活動の今	
	後の取り組みについて伺います。	
4	良好な親子関係を築くための支援について	
	核家族化や晩婚化が進み、出産後に実家を頼れな	
	い母親が増えている。そうした中、地域で“実家	
	に代わる機能”を果たそうと、出産後の母と子へ	
	の心身のケアや育児相談などを行い、出産後の女	
	性や乳児を対象に、心身のケアに関する事業が、	
	公明党推進の改正母子保健法の産後ケア事業で	

通告番号	会派名	氏名
4	市民クラブ	村上洋子

項目番号	質問要旨	摘要
1.	<p>「こども基本法」に謳われる「子どもの権利」についての普及啓発について</p> <p>日本が1994年に「国連子どもの権利条約」を批准して以来、国連子どもの権利委員会の総括所見に基づく最初の勧告において、「子どもの権利に関する包括的な法律」の採択及び「国内法を条約の原則及び規定と完全に調和させるための措置」が指摘されました。</p> <p>日本における子ども福祉の根幹とされる児童福祉法は2016年、第1条に「全て児童は、児童の権利に関する条約の精神にのっとり」と明記され、児童福祉六法等での「子どもの権利」の明記と、これに沿った改正が進められてきました。</p> <p>そのような中、2022年第208回国会において「子ども基本法」が成立し、前文には「日本国憲法及び児童の権利に関する条約の精神にのっとり」と明記されました。</p> <p>日本国憲法と同様に「子どもの権利条約」と「子どもの権利」について全ての子どもとおとなの理解を深めるための普及啓発が必要と考え質問致します。</p> <p>(1) 「こどもの権利条約の精神」についての市の認識を伺います。</p> <p>(2) 「子どもの権利条約」と「子どもの権利」についての普及・啓発について伺います。</p> <p>① 現状の市の取り組みと課題について</p> <p>② 今後の取り組みについて</p>	

項目 番号	質問要旨	摘要
2.	<p>子どものいる家庭の離婚に関する支援について</p> <p>両親の離婚は子どもたちにとって、とても大きなできごとです。</p> <p>子どもたちが両親の離婚を乗り越えて健やかに成長していけるよう、民法では、父母が「養育費の分担」、「面会交流」について取り決めること、これらの取り決めをするときは子の利益を最も優先して考慮しなければならないとされています。</p> <p>「親権」や「監護権」について、「養育費の分担」や「面会交流」について取り決めること、これらの取り決めをする時に、子どもの利益を最も優先して取り決めが進められるよう、また、子ども本人の気持ちを受け止め支援する施策を推進することは急務と考え、質問いたします</p> <p>(1) 子どものいる家庭の離婚に関する支援について、稲城市の取り組みの現状と課題について伺います。</p> <p>(2) ひとり親世帯の生活の安定と児童の福祉の増進の観点から厚生労働省が推進している事業について、その内容を伺います。</p> <p>① 離婚前後親支援モデル事業 ② 養育費等支援事業 ③ 養育費等相談支援センター事業 ④ 面会交流支援事業</p> <p>(3) 今後の取り組みについての認識を伺います。</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
3.	<p data-bbox="319 253 1083 297">不登校児童・生徒への支援について</p> <p data-bbox="319 371 1255 633">義務教育における不登校児童・生徒の人数は、稲城市においても年々増加傾向にあり、不登校や不登校傾向にある児童・生徒への支援の推進・拡充・多様化が必要と考え市の認識と今後の取り組みについて伺います。</p> <p data-bbox="319 707 1251 801">(1) 不登校児童・生徒への支援の取り組みの現状と課題について伺います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="373 819 1251 913">① 個々の児童・生徒の状況やニーズの把握、支援内容、点検・評価、連携等について <li data-bbox="373 931 1107 976">② 別室登校、訪問指導の実施について <li data-bbox="373 994 1251 1133">③ 高校等への進路や学校以外の居場所についての相談・情報センターとしての役割について <p data-bbox="319 1155 1020 1200">(2) 今後の取り組みについて伺います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="373 1218 1251 1312">① 個々の児童・生徒の状況やニーズの把握、支援、点検・評価、連携等について <li data-bbox="373 1330 1107 1375">② 別室登校、訪問指導の実施について <li data-bbox="373 1393 1251 1532">③ 高校等への進路や学校以外の居場所についての相談・情報センターとしての役割について <p data-bbox="319 1603 1251 1865">(3) 「第三次稲城市教育振興基本計画」の「不登校の子どもなどの教育機会の確保や状況の改善に向けた支援」について、さらなる取り組みの推進、拡充、多様化が必要と考えますが、市の認識を伺います。</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
4.	<p>プラスチック廃棄物の再資源化について</p> <p>「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」に基づく再商品化の方法として、稲城市では現在「容器包装リサイクル法に規定する指定法人（公益財団法人日本容器包装リサイクル協会）に委託し、再商品化を行う方法」での計画を進めています。</p> <p>国が示した再商品化のもう一つの方法として「市区町村が単独で又は共同して再商品化計画を作成し、国の認定を受けることで、認定再商品化計画に基づいて再商品化実施者と連携して再商品化を行う方法」が示されていますが、この内容について伺います。</p> <p>(1) 認定再商品化計画に基づくりサイクルの概要について伺います。</p> <p>(2) 現在、認定再商品化計画を進めている自治体状況、事業者の状況について伺います。</p> <p>(3) 稲城市として認定再商品化計画を採用する場合の課題について伺います。</p>	

通告番号	会派名	氏名
5	新政会	川村 あや

項目番号	質問要旨	摘要
1	<p>稲城市の農業を守り・育て・拡めることについて</p> <p>稲城市では梨やぶどう等の果樹を作る農家および、野菜や花卉等の農業経営も行われています。</p> <p>都市農業ということで、営農環境の変化や相続等により農家数や農地の減少をもたらしている厳しい現状があります。</p> <p>農業を担う就業者は年々、高齢化が進み、且つ後継者においては販売農家から自給的農家へ変更するという傾向も見られています。</p> <p>稲城市では「次世代に繋ぐ、農とともに暮らすまち」と掲げています、今後の稲城市の農業を守るために検討すべき施策、特に生産基盤を守るための具体的な方法を充実させることが必要であると考え、事から質問させていただきます。</p> <p>(1) 農家の現状について</p> <p>①農家数の変化について伺います。</p> <p>②農地規模の変化について伺います。</p> <p>(2) 第4次稲城市農業基本計画について</p> <p>①内容および方針について伺います。</p> <p>②施策と事業内容について伺います。</p> <p>③目標について伺います。</p> <p>(3) 農業と地域コミュニティの促進について</p> <p>①農協および直売所等を充実させることについて伺います。</p> <p>②農業体験農園や観光農園の普及促進について伺います。</p> <p>③学校給食における地産地消について現状と課題を伺います。</p> <p>④新規就農者へのサポート及び取り組みについて伺います。</p> <p>⑤新たな農作物栽培へのサポート及び取り組みについて伺います。</p>	

項目 番号	質問要旨	摘要
2	<p>稲城長沼駅前高架下の利用について</p> <p>令和3年第3回定例会でも質問させていただきました稲城長沼駅前、高架下の利用についてです。 引き続き、進捗について質問させていただきます。 コロナから3年が経ち、一時期は自粛していた市内での各種イベントも、感染防止対策や内容の工夫等によって少しずつ復活してきているように感じます。 稲城長沼駅周辺でも、駅前広場や高架下等でのイベントやキッチンカーの出店等が増えてきました。 今後も、市民の憩いの場として活用の幅を広げていただきたいことから今後の見通しについて伺います。</p> <p>(1)稲城長沼駅前における高架下の利用について 稲城長沼駅周辺は、ペアテラスやくらすクラス・キッチンカーの出店等により、小さなお子様を持つ親子連れや市民の方のお散歩コースとして使用されることが増えてきたと思います。実際、週末等には屋外イベントも少しずつ増えてきました。 高架下の活用を推進していることから、約1年前の一般質問でも提案させていただき、各方面にアプローチを検討しているとの回答でしたので、その後の経過について伺います。</p> <p>①現状について伺います。</p> <p>②利用の目的について伺います。</p> <p>③今後のスケジュールについて伺います。</p> <p>④活用について伺います。</p>	

項目 番号	質問要旨	摘要
3	<p>道路通報システムについて</p> <p>稲城市では、スマートフォンのカメラとGPS機能を利用して、道路等の損傷や不具合などが投稿できるアプリ(MCR市民投稿アプリ)が、令和3年2月から約1年1ヶ月の試行期間を経て、今年の4月から本格運用を開始しています。 MCRの活用状況等について質問させていただきます。</p> <p>(1)市民投稿アプリ MCR(マイシティレポート)の現状について ①現在の登録者数及び通報件数について伺います。</p> <p>②通報の内容について伺います。</p> <p>(2)運用上の課題について MCRは、スマートフォンでの情報提供ということで、これまでの電話や窓口対応とはまた違った課題が出ているのではないかと思います。 現状について伺います。</p> <p>(3)今後の運用について 市内では、行政と、市民・団体・事業者等の協力をいただき、新しい地域社会の支えあいの仕組みづくりとしてアダプト制度があります。 現在は、市内美化でアダプト制度を活用している方が多くいらっしゃいますが、今後はMCRも活用し、より住みやすい環境づくりをすすめていくことが望ましいと考えます、市の考えを伺います。</p>	

通告番号	会 派 名	氏 名
6	新政会	角田 政信

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
1	<p>防災対策について</p> <p>(1)水害対策について</p> <p>8月に入り東北地方や北海道では、線状降水帯による豪雨災害、また、8月13日には、台風第8号及び梅雨前線による水害等、地球温暖化の影響を受け、大気が不安定な状態が続き、全国各地で記録的な豪雨による水害、浸水被害等が発生しております。</p> <p>稲城市においても、令和元年の台風19号では、多摩川の越水危険もあり、決して対岸の火事ではありません。</p> <p>市内において、これまで大規模な水害は発生していないものの、常に最悪の事態を想定しておくことが、災害を防ぎ、被害の軽減に繋がるものだと考え、市内では発生した水害や、その対策等について、順次、質問していきます。</p> <p>①過去5年間で発生した主な水害について伺います。</p> <p>②その対策について伺います。</p> <p>③稲城市では今後想定される水害について伺います。</p> <p>④その対策について伺います。</p>	
	<p>(2)地震対策について</p> <p>先日、北海道北部で震度5強の地震があり、過去にも阪神・淡路大震災、新潟県中越地震、東日本大震災、熊本地震など、大規模な地震により大きな人的・物的被害が発生している。</p> <p>震災被害を風化させることなく、教訓として対策を行うことが重要だと考え、あらためて、地震対策について質問します。</p> <p>①稲城市で想定される、震災による家屋や人的被害について伺います。</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
	②その対策について伺います。	
2	<p>災害時における避難所運営について</p> <p>今年の夏は35℃を超える猛暑日が過去最多となりました。この状況において水害が発生した場合、避難所における熱中症対策が必要であると考えます。一方、コロナの感染者も急増し、高止まりをしています。</p> <p>(1) 避難所における熱中症対策とコロナ対策について伺います。 (2) 風水害時と震災時における避難所運営の違いについて伺います。 (3) マンパワー不足時等の課題について伺います。</p>	
3	<p>救急搬送について</p> <p>熱中症患者とコロナ患者が増えている、救急搬送が急増しているのではないかと心配です。</p> <p>また、医療機関もひっ迫してきて、搬送先がなかなか決まらないとの報道もありました。</p> <p>(1) 昨年と今年の8月末時点の救急出場件数を伺います。 (2) 昨年と今年の8月末時点の出場から医療機関収容までに要した平均時間を伺います。 (3) 救急要請がひっ迫した際の対応について伺います。</p>	
4	<p>新型コロナウイルス感染症陽性者の状況について</p> <p>新型コロナウイルス感染症について、第7波の流行により、市内でも多くの感染者が発生している状況です。検査を受けたくても受けられず、複数の医療機関に電話をかけている方なども多くいらっしゃるという報道でも取り上げられていました。</p> <p>また、医療機関も逼迫しており、入院できずにいる方々も多くいる現状であると心配しています。</p> <p>(1) 稲城市 PCR センターを設置した経緯と実績について伺います。</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
	(2) 令和4年7月と8月の15日時点での自宅療養者及び宿泊施設	
	の待機者について伺います。	
	(3) 市内高齢者施設でクラスターが発生した際の対応について伺い	
	ます。	

通告番号	会 派 名	氏 名
7	公 明 党	市瀬 ひさ子

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
1	<p>住み慣れた地域で自分らしく暮らし続ける、安心の環境づくりについて</p> <p>誰もが医療や介護等の連携のもと、最後まで安心・安全に暮らし続けられる環境づくりは重要です。稲城市においても地域包括ケアシステムの深化や推進に向けた様々な取り組みが進められています。地域包括ケアシステムの5つの要素「医療・介護・予防・住まい・生活支援」の中でも、「医療」と「介護」を一体的に提供できる体制を整えることについて、「稲城市在宅医療・介護連携推進協議会」等を通じ、医療機関と介護サービス事業者等による連携が推められています。一人ひとりに寄り添った更なる推進に期待し、質問致します。</p> <p>(1) 地域包括ケアシステムの更なる推進について</p> <p>①現状について伺います。</p> <p>②今後の取り組みについて伺います。</p> <p>(2) 認知症の方とその家族への支援について</p> <p>2025年には65歳以上の5人に1人が認知症を患うと推計されています。稲城市では、市民が認知症への理解を深めるとともに、認知症の方が安心して住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、様々な相談・支援事業が行われています。公明党は2017年より、認知症の当事者とその家族への一体的支援事業の実現を後押ししてまいりました。本年4月、厚生労働省は、両者が共に活動・交流する場を地域に設け、より一体的に支援する自治体への</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
	補助に乗り出しました。	
	①現状について伺います。	
	②認知症の方と家族への一体的支援事業について市の見解を伺います。	
	③今後の取り組みについて伺います。	
2	自治体 DX 推進に伴う、市民に寄り添った「ご遺族支援コーナー」の開設について	
	遺族は大切な方を失った悲しみの中でも、死亡や相続に関する多くの手続きを進めなくてはならないことから、遺族に寄り添い必要な手続きをワンストップで対応できる窓口を設置する自治体はわずか3年間で28倍へと急増、今後自治体DX推進に伴い、導入する自治体も増えていくと考えます。	
	行政手続きのオンライン化を優先事項とされている本市において、新たな窓口の設置は、場所の確保や職員配置等の課題があると考えます。しかし年間死亡者数は650人ほど、今後増加し来庁される高齢者も増えることから、遺族や職員の負担軽減にもつながる予約制の窓口設置も必要ではないかと考えます。	
	(1)「ご遺族支援コーナー」の開設について、市の見解を伺います。	
	(2)多岐にわたる市役所以外での手続について、市の対応を伺います。	
3	障害の方やがん患者に寄り添う、更なる安心・安全につながる支援について	
	誰一人取り残さないつながり支え合う共生社会の実現に向け、様々な困難を抱えている方々やそのご	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
	<p>家族が安心して生活できる環境づくりは重要であると考えます。</p>	
	<p>(1)24時間人工呼吸器やたん吸引器等を使用されている在宅医療の方や医療的ケア児等への災害時等の電源確保に向けた対応について</p>	
	<p>①24時間人工呼吸器やたん吸引器等を使用されている方の把握について伺います。</p>	
	<p>②災害等による長期停電時の在宅ケアに向けた電源確保の対応について伺います。</p>	
	<p>③災害時の在宅ケアが困難になった際の避難所等への搬送など対応について伺います。</p>	
	<p>(2)デジタル障害者手帳アプリについて</p>	
	<p>障害者手帳を持ち歩かなくても、障害者手帳の情報を取り込んだスマートフォンのアプリ画面を提示することで利用料金等の減免を受けられるとともに、お得に使える電子クーポンの配信や障がい者の生活に役立つ情報発信が行われる、「ミライロ ID」を導入する自治体や協力事業者が増えています。</p>	
	<p>①デジタル障害者手帳アプリ「ミライロ ID」に対する市の見解を伺います。</p>	
	<p>②デジタル障害者手帳アプリ「ミライロ ID」を市内公共施設において利用できることは、障がい者の生活をサポートし、社会参加を促すことにつながると考えます。市内公共施設におけるデジタル障害者手帳アプリ「ミライロ ID」の導入について市の見解を伺います。</p>	
	<p>(3)アピアランスケア用品購入費の助成について</p>	
	<p>がん治療に伴う外見の変化に対し、がん患者の方の心理</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
	<p>的負担を軽減するとともに社会参加を促し、療養生活の質を高められる、アピアランスケア用品の購入費助成は、がんになっても自分らしく生きることのできる社会の構築に向け、重要であると考えます。</p> <p>①現状について伺います。</p> <p>②医療用ウィッグや乳房補整具等の購入費用など、アピアランスケア用品購入費の助成について、市の見解を伺います。</p> <p>(4)前立腺がんや膀胱がんなどの患者等に配慮した、市内公共施設の男性トイレやだれでもトイレへの大型サニタリーボックスの設置について</p> <p>前立腺がんや膀胱がん等の手術を受けた男性患者は尿漏れパッドを着用することが多く、日本トイレ協会が実施したアンケートでは、尿漏れパッドや紙パンツを使用する男性の約7割が、捨てる場所に困っていると回答しています。がん患者やトランスジェンダーで生理がある人などに配慮した、市庁舎はじめ学校や保育所を除く市内公共施設の男性用トイレやだれでもトイレへの大型サニタリーボックスの設置について伺います。</p> <p>①現状について伺います。</p> <p>②男性用トイレやだれでもトイレへの大型サニタリーボックスの設置について、市の見解を伺います。</p>	

通告番号	会 派 名	氏 名
8	日本共産党	岡田まなぶ

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
1	<p>新型コロナ第7波から 市民の生命を守る取り組みについて</p> <p>新型コロナウイルス感染症第7波への対応および、検査、保健所、医療体制の拡充・強化、早期発見と早期治療で市民の生命を守る取り組みを問う。</p> <p>(1) 市内の医療機関、市 PCR 検査センター、市立病院、市内における東京都の無料 PCR 検査の検査実施状況について。</p> <p>(2) 感染した人の救急搬送や市立病院での受け入れ状況について。</p> <p>(3) 在宅療養者への支援について。</p> <p>(4) 検査、保健所、医療体制の拡充・強化、早期発見と早期治療の体制強化について。</p>	
2	<p>都立高校入試の英語スピーキングテスト (ESAT-J) 導入の問題点について</p> <p>東京都教育委員会は、現在の中学校3年生が受験する令和5年度(2023年度)都立高入試から、ベネッセ・コーポレーションと協定を結び、英語スピーキングテストを導入しようとしている。</p> <p>11月27日に、全公立中学3年生を対象に、イヤホンから流れる問題に一人ひとりが答え、音声録音されるテストが行われ、フィリピンの組織により採点され、1月に結果が返却され、都立高校入試総合得点に20点満点で加算される。</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
3	<p>このスピーキングテストに、公平性や個人情報保護に対して疑問が広がっている。子どもたちの入試の公平性、個人情報の保護を求める立場から質問する。</p> <p>(1) 入試は公平性が求められると考えるが認識は。</p> <p>(2) 入試は1点差が合否判断を左右する。おおまかな到達具合を確認するアチーブメントテストの性格を持つテストを使うことは公平性が保てないのでは。認識は。</p> <p>(3) スピーキングテストは、個人での申し込みを基本としているが、市内の各中学校ではどのような申し込み方をしているか。</p> <p>(4) スピーキングテストは中学校3年生の個人情報がベネッセや委託企業などにわたる。個人情報の保護について認識は。</p> <p>(5) 入試において最も重視されなければならない公平性や個人情報保護に疑問のあるまま実施されるべきではないと考えるが認識は。</p> <p>3 学校給食の無償化について</p> <p>全国で給食費を無償にする自治体が増えている。新型コロナウイルスの影響による収入減や失業、物価高騰などにより暮らしの厳しさが増している。</p> <p>学校給食は学校教育活動の一環であり、食育としても重要であるが、食材費を保護者負担としている限り、負担を抑えれば質を保てない、質を上げれば負担が増すという問題が生じる。給食費の負担軽減の必要性はますます大きくなっている。子どもたちが、安心して質の高い給食を食べられるようにすることが重要である。</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
	<p>義務教育は無償、食育、子育て支援の視点から、学校給食費の無償化を求めて質問する。</p> <p>(1) 学校給食の実施状況および学校給食の役割は。</p> <p>(2) 給食費についての基本的な考え方は。</p> <p>(3) 給食費を無償にすべきと考えるが基本姿勢は。</p> <p>(4) 国、東京都に給食費の無償化や補助を求めることについて。</p>	
4	<p>大学の奨学金返還支援について</p> <p>(1) 八王子市が大学などを卒業後、八王子市内に住む人を対象に、奨学金の返済を支援する事業を始めた。</p> <p>稲城市でも、学生や若者の定住促進に向けた若者支援として、奨学金返還の支援を実施すべきと考えるが認識は。</p>	
5	<p>i バス、路線バスの拡充について</p> <p>i バス、路線バスについて、市民から寄せられている増便や延伸などを求める声をもとに質問する。</p> <p>(1) 南山地域への i バス、路線バスの延伸について。</p> <p>(2) 若葉台駅～南多摩駅への路線バス増便について。</p> <p>(3) 山坂が多く、高齢化が進むもと、市民の身近な足として、また、高齢者の運転免許返納の促進、交通事故防止、CO2 削減にも効果がある、i バスを 30 分に 1 本への拡充をめざすべきと考えるが認識は。</p> <p>(4) i バスの運行補助を東京都に求めることについて。</p>	

通告番号	会 派 名	氏 名
9	新 政 会	坂田たけふみ

項目 番号	質 問 要 旨	摘 用
1	<p>小中学校のプールの在り方について</p> <p>各小中学校に設置されているプールにおける授業は、文部科学省の学習指導要領の中にある水泳指導の手引きによると、「水の中で運動する」との点で、陸上における各種の運動と違う点を理解することが重要とあり、特に、水の物理的特性を理解する事が、「水泳系で求められる身体能力を身に付けること、また、水の中での安全に関する知的な発達を促すこと、さらに、水の事故を未然に防ぐ理論的な思考力を育むこと」とあります。このことからわかるように、水泳の授業は子どもたちにとって重要な授業の一つであると認識しています。</p> <p>また、学校プールは、夏休み期間中開放し、コロナ禍になる以前は、広く市民にも利用されてきました。</p> <p>しかしながら、コロナ禍による影響、昨今の異常気象による、水面温度の上昇や、大雨等の影響により、授業スケジュールの変更や教員の負担、そしてプール自体の老朽化や維持管理等々、様々な課題があると感じます。そこで、学校プールに関する現状や今後のあり方について伺います。</p> <p>(1)水泳指導の実施期間について伺います。</p> <p>(2)水泳指導の指導人員の現状について伺います。</p> <p>(3)プール開放の年間の稼働日数について伺います。</p> <p>(4)各プールの築年数と老朽化状況について伺います。</p> <p>(5)学校プールを利用する場合と民間委託し、施設を利用した場合のコスト比較について伺います。</p> <p>(6)今後の学校プールの在り方に関する市の考えについて伺います。</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 用
2	不登校児童・生徒への支援について	
	文部科学省による「令和2年度 児童生徒の問題行動・不登校等	
	生徒指導上の諸課題に関する調査」による、平成3年から令和2	
	年までの不登校児童生徒数の推移をみると、徐々に増え、しばらく	
	横ばいの状況から、平成24年を境に再び増加傾向にあり、令和2	
	度においては、196, 127人と過去最多との調査結果が出ました。	
	少子化により子どもの数は減っているにもかかわらず、不登校児童	
	生徒数は増加傾向にあるという状況から、不登校児童生徒に対する	
	支援について伺います。	
	(1) 不登校に陥る要因は児童生徒によって様々であり、それぞれの	
	ケースによって粘り強くきめ細やかな対応が必要と考えます。	
	実際に、不登校児童生徒に対して学校や市はどのような対応をして	
	いるのか伺います。	
	(2) 教育委員会が所管する不登校等に関する相談件数について伺	
	います。	
	① 来所相談について	
	② 電話相談について	
	③ SNS 等を利用した相談について	
	(3) 不登校の児童生徒への支援として、国や都の調査結果を	
	どのように活用しているのか伺います。	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 用
3	南多摩尾根幹線及び鶴川街道の整備について	
	百村地区をはじめ、市内には南多摩尾根幹線と鶴川街道の2つの主要幹線道路が通っており、現在、道路整備が進められています。	
	道路整備にあたっては、東京都において、広域的な道路ネットワークの強化や防災性の観点から、地域の魅力向上等を目的に、事業推進が図られています。	
	(1)南多摩尾根幹線の整備に向けた取り組みについて	
	稲城市内の南多摩尾根幹線整備については、一部の地域において、トンネル区間があるとお聞きしておりますが、令和2年10月に、調布市内において「東京外郭環状道路」のトンネル掘削工事の影響で、道路が陥没する事故が発生しました。	
	そこで、稲城市内における南多摩尾根幹線トンネル区間におけるトンネル工事の計画について伺います。	
	(2)鶴川街道の整備に向けた取り組みについて	
	良好な住みよい環境づくりと、公共施設の整備・改善を図るため、現在、百村地区において、東京都が施行する鶴川街道と市が施行する鶴川街道沿いの道路整備に向け、鋭意推進されていると伺っております。	
	そこで、道路整備の早期実現に向け、東京都・稲城市双方の連携・協力体制等の取り組み状況について伺います。	

通告番号	会 派 名	氏 名
10	改革稲城の会	岩佐ゆきひろ

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
1	なしのすけ商品券デジタル版について	
	<p>(1) 本年7月15日から7月25日の間に抽せん申し込みのありましたなしのすけ商品券デジタル版ですが、申し込み状況や、利用できる事業者等について伺います。</p> <p>① 購入希望者数、当選確率について</p> <p>② なしのすけ商品券デジタル版を利用できる事業者数について</p> <p>③ 商品券を利用できる事業者の市民への周知について</p>	
	<p>(2) 大分県佐伯市では1世帯3冊(3万円分)までの購入制限のある商品券が1人で446冊(446万円分)購入された報道がありましたが、一人5万円までといった応募がされているか、重複申し込みの有無などの確認をどのようにしているのか伺います。</p>	
	<p>(3) 決済ができる稲城市内事業者を増やしてほしいとの声が多く聞こえますが、今後の稲城市内事業者を増やしていく取組について伺います。</p>	
2	市内の分譲マンション、実態調査について	
	<p>(1) 本年8月から分譲マンションの管理状況等を把握する稲城市分譲マンション実態調査を実施しておりますが、以下の点について伺います。</p> <p>① アンケート調査の期間と対象となる分譲マンションについて</p> <p>② 現地調査の期間と対象となる分譲マンションについて</p> <p>③ 調査内容結果の公表について</p>	

通告番号	会 派 名	氏 名
11	新政会	梶浦みさこ

項目番号	質 問 要 旨	摘 要
1	<p>母子健康手帳の内容充実と「おやこ(親子)健康手帳」等の通称使用について</p> <p>妊娠・出産・子育ての切れ間のない支援体制の整備が進められている現在、その取り組みに資する母子保健事業の端緒となる母子健康手帳は重要なツールであります。妊娠・出産に係る医療の進歩、子育てをめぐる環境や価値観の変化に伴い、妊娠中のパートナーの役割や父親の育児参加の重要性が高まっていることから、母子健康手帳の内容や記載情報、名称について見直すタイミングにあると考え、市の見解を伺います。</p> <p>(1) 母子健康手帳に関する国の動向について</p> <p>省令様式・任意様式など母子健康手帳や母子保健情報等に関する国の動向について伺います。</p> <p>(2) 母子健康手帳に関する東京都の動向について</p> <p>母子健康手帳の任意様式に関する東京都の動向について伺います。</p> <p>(3) 母子健康手帳の内容の充実について</p> <p>学齢期以降の健康状態の記録、父親の育児参加の促進に資する記入欄や情報の追加など、母子の健康保持・増進及び、母親・父親への子育て支援の一層の推進の視点から、母子健康手帳の内容をさらに充実することについて伺います。</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
	<p>(4)「おやこ(親子)健康手帳」等の通称使用または併記について</p> <p>母子保健法に基づき妊産婦及び乳幼児の健康の保持及び増進の重要性の観点から「母子健康手帳」という名称は重要であると共に、父親の育児参加が進んだ社会情勢を鑑み、母子健康手帳の子どもの健康と発達の記録を家族で共有するものとしてできるよう、様々な自治体で通称や併記の取り組みが進められています。</p> <p>「親子手帳」「子育て手帳」「家族手帳」など、「母子健康手帳」を基本とし「おやこ(親子)健康手帳」等の通称使用や名称の併記について伺います。</p>	
2	<p>オリンピック・パラリンピックのレガシーの成果と継承について</p> <p>東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の開催から1年が経過しました。新型コロナウイルス感染症の感染拡大により1年延期による無観客での実施となる中、稲城市内道路がコースとなった自転車競技ロードレースは、市内外から多くのボランティアや観戦者が参加することでできた貴重な機会でありました。東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、市では各種団体や多くの市民にご協力いただき実施に至ることができたと考え、有形・無形の両面から長期的な影響をもたらすポジティブ・レガシー(有益な社会遺産)を市政にどのように活かしているのか、活かしていくのか、その成果と継承について伺います。</p> <p>(1)スポーツの振興について</p> <p>東京 2020 オリンピック・パラリンピックの実施により「スポーツ</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
	<p>をする」「スポーツを観る」「スポーツを楽しむ」などのスポーツ振興の視点からオリンピック・パラリンピックのレガシーの成果と継承について伺います。</p>	
	<p>(2) 市民参加・ボランティア活動の推進について 大会イベント等への市民の参加や協力、「スポーツを支える」ボランティアの機会の創出やボランティアマインドの広がりなど、市民参加やボランティア活動の推進の視点からオリンピック・パラリンピックのレガシーの成果と継承について伺います。</p>	
	<p>(3) 観光や文化の振興について 自転車競技ロードレースのコースとなり稲城市が東京 2020 オリンピック大会の舞台になったことは、稲城市の観光や自転車文化の振興に大きな成果をもたらしたと考えます。観光施策の推進や文化の発展の観点からオリンピック・パラリンピックのレガシーの成果と継承について伺います。</p>	
	<p>(4) オリンピック・パラリンピック教育について オリンピック・パラリンピック教育の推進により、東京 2020 大会の機運醸成とともに、特に子どもたちにスポーツの楽しさやパラアスリート等の活躍による多様性の重要性を高める効果があったものと考えます。オリンピック・パラリンピック教育の成果と継承について伺います。</p>	
	<p>(5) 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策について 新型コロナウイルス感染症の感染拡大が続く中、自転車競技ロードレースでは感染防止対策を図り沿道での観戦やイベ</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
	<p>ントを実施できたことはコロナ禍での社会活動の継続の点から貴重なレガシーとなったと考えます。新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策に関する東京 2020 オリンピックの成果について伺います。</p>	
3	<p>若葉台「iプラザふれあいロード」等の市道を活用した「ほこみち(歩行者利便増進道路)」のまちづくりについて</p> <p>「道路空間を街の活性化に活用したい」「歩道にカフェやベンチを置いてゆっくり滞在できる空間にしたい」など、道路への新しいニーズが高まっています。地域を豊かにする歩行者中心の道路空間の構築を行いやすくするため、若葉台のiプラザふれあいロード等の市道を活用した「ほこみち(歩行者利便増進道路)」のまちづくりについて市の見解を伺います。</p>	

通告番号	会 派 名	氏 名
12	日本共産党	田島きく子

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
1	<p>生理の貧困について</p> <p>(1)生理用品の無償化の意義について</p> <p>①内閣府男女共同参画局「女性版骨太の方針 2022」の「Ⅱ－(5)－①『生理の貧困』への支援」で述べられている内容についてききます。</p> <p>②内閣府「子供・若者育成支援推進大綱」別紙 施策の具体的内容の「第2－(2)－④子どもの貧困問題への対応(教育の支援)」で生理用品について述べられている内容についてききます。</p> <p>(2)生理用品を置き場所について</p> <p>①令和4年度当初予算における、市内小中学校で保健室に置かれている生理用品の予算額をききます。</p> <p>②学校のトイレにトイレットペーパーや液体石鹸・消毒液と同じ扱いで、生理用品も置くことについて認識をききます。</p>	
2	<p>補聴器助成による加齢性難聴者への支援について</p> <p>(1)一般的な高齢者の難聴発症率についてききます。</p> <p>(2)市内の高齢者の難聴で困っている人の状況についてききます。</p> <p>(3)加齢性難聴で困っている人の支援として、補聴器購入の助成を行うことについて認識をききます。</p>	
3	<p>稲城市環境基本計画の実践による気候変動対策の推進について</p> <p>(1)「第二次稲城市環境基本計画 第4章－4. 環境にやさしい循環型のまちをめざして－(1)低炭素社会を構築しよう」における脱炭素化にむけての取り組み状況について</p> <p>①「新エネルギー機器等への補助件数」について、令和4年度の目標値と直近の達成状況についてききます。</p> <p>②「稲城市全域から排出される温室効果ガス」について、直近の年間排出量と現在の目標値についてききます。</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
4	<p>③「省エネルギーに関する講座や勉強会、イベントの開催数」について、令和4年度の目標値と直近の達成状況についてききます。</p> <p>(2)「第二次稲城市環境基本計画 第4章-4. 環境にやさしい循環型のまちをめざして-(2)資源が循環するまちをつくろう」におけるごみ排出量削減の取り組み状況について</p> <p>①「一人1日あたりごみの排出量(燃えるごみと燃えないごみ)」の平成23年度と令和3年度の数値についてききます。</p> <p>②「資源化率」について、直近の状況についてききます。</p> <p>(3)第三次稲城市環境基本計画における更なる脱炭素化の取り組みについて</p> <p>①第三次稲城市環境基本計画の検討進捗状況についてききます。</p> <p>②第二次稲城市環境基本計画の到達を踏まえて、第三次基本計画は脱炭素化・気候変動対策についてより踏み込んだ目標や実践計画を盛り込むべきと考えるが認識をききます。</p> <p>物価高から暮らしを守るためのゴミ袋の値下げについて</p> <p>(1)令和4年度当初予算の使用料・手数料におけるゴミ袋代の総額と種類別の内訳についてききます。</p> <p>(2)物価高から市民の暮らしを守るために、ゴミ袋代を令和2年度の値上げ前の金額に戻すべきと考えるが市長の認識をききます。</p>	<p>市長答弁を 求める</p>

通告番号	会派名	氏名
13	起風会	中田 中

項目番号	質問要旨	摘要
1	震災におけるマンション防災・地域防災について	
	首都直下地震が稲城市近郊で発生した場合、(緊急地震速報も間に合わないので)震度6強以上の大きな揺れが「不意打ちで」襲ってきます。更に発災直後は、公助は期待できないので自助・共助で初期消火・安否確認・救出救護等の活動を行っていく必要があります。更に電気・ガス・水道といったライフラインは、ほぼ完全に停止してしまうため、そのような状況下でもできる限り快適に、かつ速やかに復旧に向かうための備えも必要となります。各地域の自主防災組織等が様々な取り組みを実践していると思うが、現場での課題認識を市がどのように認識しているか確認するために質問する。	
	(1)地域防災計画(震災編)における市民と地域の果たすべき役割について確認したい。	
	① 予防対策(発災前の自助・共助)	
	② 応急対策(発災後の自助・共助)	
	(2)震災発生時に想定されるマンション防災の課題について	
	① 揺れてからの対応も重要だが、揺れる前の対策(家具転倒防止・ガラス飛散防止等)がより重要と考えるが、それに対する市の認識を伺いたい。	
	② 階下への避難と在宅避難のどちらを選択すべきか、その判断基準(特に高層階の場合)について市の認識を伺いたい。	
	③ 共助による食糧備蓄も重要だが、住民自身が日常備蓄(ローリングストック)等によって自助による備蓄に取り組むことが、より重要であると考えますが、それに対する市の認識を伺いたい。	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
	④ 初期消火は、住民自身および近隣住民の手で実施することが求められるが、マンションの場合、室外から炎・煙が見える程の火勢にならないと（空振りの可能性もあるため）近隣住民は中に踏み入ることを躊躇してしまう。住民レベルではどこまで対応すべきか、市の認識を伺いたい。	
	⑤ マンションの場合、室内に傷病者がいても笛や声で知らせることができないと（不在の可能性もあるので）外部から救助が必要かも判断できない。住民レベルではどこまで対応すべきか、市の認識を伺いたい。	
	⑥ マンションの場合、排水管の無事が確認できるまでトイレ（下水）を流すのは厳禁（風呂水で流すのも禁止）だと言われているが、それに対する市の認識を伺いたい。	
	⑦ 新耐震基準の建物で、安全であることが確認できたなら、避難所に避難する必要はないと考えるが、それでも地域の一員として避難所設営・運営に関わる意義について、市の認識を伺いたい。	
	(3) 災害発生時、情報収集・安否確認・避難所受付等、様々な場面でICT活用が図られているが、通信障害等のリスクを考えるとそれだけに頼ることはできないと考える。アナログな手段とのバランス等について、市の認識を伺いたい。	
	(4) 震災発生時の自主防災組織（および住民）による初動対応および安否確認では、どのような対応が求められているのか（いきなり避難所に向かえ、ではないと思われる）、市の認識を伺いたい。	
	(5) 震災発生時、避難所運営関係者会議等による地域内での取り組みにおいて、どのような連携・協力が求められているのか、市の認識を伺いたい。	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
2	令和 2 年度稲城市財政白書について	
	<p>令和 2 年度は、新型コロナウイルス感染拡大に伴う対応が本格的に始まった年度であると共に、第四次稲城市長期総合計画の最終年度で、第一調理場の建替えや民間保育所の新設など様々な事業が一段落するタイミングでもあり、GIGAスクールによるタブレット導入など、ICT整備も進んだ年でもある。</p> <p>令和 4 年 8 月に発行された令和 2 年度版の稲城市財政白書に基づき、稲城市の財政状況および課題について確認するため、質問する。</p>	
	(1) 令和 2 年度の財政状況についてどのように総括しているか、改めて市の認識を確認したい。	
	(2) 財政指標の状況について	
	① 財政構造の硬直化の度合いを示す指標「経常収支比率」について、市の認識を確認したい。	
	② 財源の余裕の度合いを示す指標「財政力指数」について、市の認識を確認したい。	
	③ 将来負担すべき負債等の大きさの度合いを示す指標「将来負担比率」について、市の認識を確認したい。	
	(3) 性質別歳出について	
	① 扶助費が類似団体に比べ高い要因について、市の認識を確認したい。	
	② 人件費が類似団体に比べ高い要因について、市の認識を確認したい。	
	③ 物件費が類似団体に比べ高い要因について、市の認識を確認したい。	

通告番号	会 派 名	氏 名
14	市民クラブ	武田まさひと

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
1	<p>多7・5・2号公園通り梨の道線と多7・5・3号宿榎戸線を含む榎戸を中心とした道路の交通安全対策について</p> <p>矢野口自治会館北側空き地近辺の多7・5・2号公園通り梨の道線と交差するあたりにおいて、今年5月の連休中に3件の交通事故があったと聞いています。榎戸区画整理区域内の交通安全対策について伺います。</p> <p>(1) 地域住民の暮らしが最優先されなければならないと考えますが、多7・5・2号公園通り梨の道線の今後の交通安全対策について伺います。</p> <p>(2) 今後、多7・5・2号公園通り梨の道線が整備されると、鶴川街道からのう回路として使われる懸念があります。通学路としても使っていることから、交通安全策が必要と考えますが、見解を伺います。</p> <p>(3) 多7・5・3号宿榎戸線が旧鶴川街道のところで行き止まりになっています。今後、川崎街道まで延伸した場合、交通量が増えることが想定されますが、交差点の交通安全対策について伺います。</p>	
2	<p>持続可能な里山保全について</p> <p>稲城市緑の基本計画にも記載されていますが、緑地の維持・管理・保全するための取り組みが将来に渡って継続することによって持続的に里山を守っていくという立場で質問します。</p>	

項目 番号	質 問 項 目	摘 要
	<p>(1) 市民参加での里山の維持・保全の仕組みづくりと支援策について</p> <p>① 2009年時点と現在では、緑地はどのくらい増減があるのか、またその構成を伺います。</p> <p>② 現在、緑地の維持・保全に関わっている市民や団体はどのくらいいるのか、またどのような活動をしているのかを伺います。</p> <p>③ 行政としてどのように関わっているのか伺います。</p> <p>④ 当該区域はほとんどが市街化区域の為、これからも保全・管理をしていかないと緑の輪の形成が危うくなると考えますが、市の見解を伺います。</p> <p>(2) 里山緑地を保全管理をする、市民参加による(仮称)いなぎ里山レンジャーについて</p> <p>① (仮称)いなぎ里山レンジャーの目的と考え方及び進捗を伺います。</p> <p>② (仮称)いなぎ里山レンジャーの募集要項について伺います。</p> <p>(3) 持続可能な管理ができる担い手の育成について</p> <p>① 稲城市の緑化推進基金や森林環境譲与税を活用するなどして地域の調整役や全体の管理をする担い手の育成をしていく必要があると考えますが、見解を伺います。</p> <p>② 市民の中には、直接の活動には関われないが稲城の自然は守りたいという声もたくさんあります。新たな寄付制度を創設することも考えるべきだと思いますが、見解を伺います。</p> <p>③ 相続や買収などで保全が脅かされる場合、公有化を目指すべきだと考えますが認識を伺います。</p>	

項目番号	質問項目	摘要
3	<p data-bbox="305 235 1168 280">公立小学校におけるコロナ対策について</p> <p data-bbox="305 347 1246 548">コロナ禍が低年齢化しているなか、家庭内感染の拡大を防ぐために、子どもと保護者、教員の健康と命を守るための対策について伺います。</p> <p data-bbox="305 616 1246 705">(1) 今までの稲城市の学校現場における感染症対策について伺います。</p> <p data-bbox="305 716 1246 907">(2) 学校と教育委員会における初動対応に基づく、各学校の感染状況を保護者に周知するメール配信は感染拡大予防効果につながったと考えるのか伺います。</p> <p data-bbox="305 907 1246 1052">(3) 7月の一学期終業式前に向陽台小学校では4教室同時学級閉鎖となっていました。今後の改善策はあるのか、考えを伺います。</p>	

通告番号	会 派 名	氏 名
15	改革稲城の会	榎本 久春

項目番号	質 問 要 旨	摘 要
1	新型コロナウイルス感染症拡大に伴う高齢者福祉施設・事業所等の利用者や職員への対応について	
	<p>新型コロナウイルス感染症のオミクロン株は、感染力が強く若年層への感染者が多くみられる中、職場や家族への感染へと広がり、いどこで感染するかわからない状況にあるかと思えます。このような状況において、様々な機関で人材不足による影響も出てきており、各事業所では対応に苦慮されていると聴いております。高齢者福祉施設でも利用者や職員への感染も相次いでおり、介護保険事業への影響も心配されます。職員の感染による人材不足も懸念される中、職員は重症化しやすい高齢者の感染拡大を防ぎ、命を守るための対応に危機感を高めているのではないかと考えられます。そこで、市内の高齢者福祉施設・事業所等の現状について伺います。</p>	
	(1) 高齢者福祉施設・事業所等の感染の状況報告について伺います。	
	(2) 高齢者福祉施設における施設内療養者について伺います。	
	(3) 新型コロナウイルス感染症への感染対策の再徹底について伺います。	
	(4) 高齢者福祉施設・事業所等の関係者が濃厚接触者となった場合の待機期間の取り扱いについて伺います。	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
	(5) 高齢者福祉施設・事業所等の介護職員を確保するための支援について伺います。	
2	ナラ枯れ被害に対する取り組みについて	
	<p>カシノナガキクイムシが運ぶ病原菌により発生する樹木の伝染病ナラ枯れは、令和2年に市内で確認され、公有地や公園を確認したところ被害が拡大していることが判明し、感染した樹木は枯れてしまうと倒木の危険があることから対応が求められ、令和2年から3か年で対策を実施されてきていると思います。ナラ枯れは全国的に広がりを見せてきており、被害の拡大とともに自治体には対応する費用が重くのしかかっています。これまで市で対応されてきたナラ枯れ被害の取り組みについて伺います。</p>	
	(1) これまでのナラ枯れの被害状況について伺います。	
	(2) これまでのナラ枯れ被害に対する取り組みについて伺います。	
	(3) 民有地のナラ枯れ被害に対する取り組みについて伺います。	
	(4) ナラ枯れしてしまった樹木伐採後の植樹について伺います。	
	(5) ナラ枯れした樹木の根付近に発生する毒キノコについて伺います。	

通告番号	会 派 名	氏 名
16	市民クラブ	いそむら あきこ

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
1	<p>公民館の多様な活用について</p> <p>公民館は、市民の自主的な社会教育活動であれば、誰でも無料で利用することができ、また、内容により、有料での利用もできます。しかし、「社会教育法第 23 条に規定する営利目的や政党・宗教活動には利用ができません。」としています。</p> <p>公民館での活発な生涯学習活動や地域での必要な政治的教養を高めるためにも、今後、営利目的や政党・政治活動の利用について、文部科学省からの事務連絡の内容を踏まえ、検討していく必要もあると考え、以下について伺います。</p> <p>(1) 公民館の現状の活用について</p> <p>① 公民館の役割について伺う。</p> <p>② 過去 5 年間の各公民館の年間平均利用率について伺う。</p> <p>③ 有料で公民館が利用できる条件について伺う。また、過去 5 年間の有料での利用状況について伺う。</p> <p>(2) 営利目的や政党・政治活動の利用について</p> <p>① 平成 30 年 12 月 21 日付、文部科学省総合教育政策局からの「社会教育法第 23 条第 1 項の解釈の周知について(依頼)」の事務連絡の内容について伺う。</p> <p>② 営利目的や政党・政治活動の利用について、今後、検討していく必要もあると考えるが認識を伺う。</p> <p>(3) 当日の利用について、コロナ禍で計画的に開催することが難しい現状もあり、またこれまでも当日利用については利用できるようにして欲しいといった声も多くある。当日利用の検討・研究状況について伺う。</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
2	<p data-bbox="310 255 812 300">産後支援の拡充について</p> <p data-bbox="310 365 1251 544">令和4年度より、新たに産後ケア施設として助産院の利用が可能になりました。また、産後支援ヘルパー事業の利用時間等も拡大され、産後支援の充実により、さらに子育てしやすい環境になることが期待されます。</p> <p data-bbox="310 557 1251 640">そこで、産後ケア事業と産後支援ヘルパー事業について伺います。</p> <p data-bbox="310 698 614 739">(1) 産後ケア事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="362 748 1251 831">① 今年度の産後ケアの利用状況について、稲城市立病院といなだ助産院とそれぞれ伺う。 <li data-bbox="362 844 1251 927">② 現在、産後ケアを利用する際には保健師との面談が必要になるが理由について伺う。 <li data-bbox="362 940 1251 1072">③ 他の自治体の産後ケア事業の利用状況をみると、宿泊型より訪問型や日帰り型の需要が多い。本市での導入の検討について伺う。 <li data-bbox="362 1086 1251 1265">④ 本市の産後ケアは生後4カ月未満の乳児が対象となっているが、母子保健法では出産後1年までとすることが努力義務として規定されている。対象期間を延長することの検討について伺う。 <p data-bbox="310 1323 755 1364">(2) 育児支援ヘルパー事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="362 1373 1251 1505">① 支援が必要な方のニーズ把握や情報提供と関係部署との連携、またそれらを踏まえた研修体制が重要であると考えますが、取組みについて伺う。 	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
3	<p>小中学校の特別教室への空調設備の設置について</p> <p>毎年、夏の猛暑を受け、児童・生徒の安全安心を守る学習活動をいかに確保すべきか、喫緊の課題となっています。</p> <p>本市では既に全ての小中学校の普通教室と体育館に空調設備が設置されており、特別教室においても、学習環境整備や児童、生徒、教職員の健康を守るために、計画的に空調設備の設置を進めるべきと考え、以下について伺います。</p> <p>(1) 特別教室を設置している根拠について伺う。</p> <p>(2) 過去5年間の小中学校の特別教室への空調設備の設置数と設置率について伺う。</p> <p>(3) 稲城市立学校PTA連合会や校長会からも要望が出されていると思うが、いつから同要望事項が出され、どのような回答をされているのか伺う。</p> <p>(4) 特別教室への空調設備の設置については、「義務教育施設の整備状況全体の優先順位並びに財政状況を見ながら対応を検討する」と答弁されているが、義務教育施設での空調設備の設置の優先順位はどの程度のものか認識を伺う。</p>	
4	<p>小中学校の学校指定用品について</p> <p>稲城市子ども・子育て支援事業に関するニーズ調査報告によると、子育て支援充実への要望に対する質問において、「保育所や幼稚園、学校にかかる費用負担を軽減してほしい」が32.9%と最も回答が多く、また、子育てに関して日頃悩んでいること、または気になることに対する質問においては、「保育・教育にかかる費用の負担が大きいこと」が高い回答率となっています。</p> <p>特に、学校指定用品は市販用品と比較すると高いものもみられるため、保護者の経済的負担を軽減するためにも学校指定用品は極力減らすべきと考えます。そこで、以下について伺います。</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
5	<p>(1)小中学校で学校指定用品(水着や体操服、上履きなど)とされているものについて伺う。</p> <p>(2)学校指定用品の中には他の市販用品と比較すると高いものもみられるようですが、学校指定用品の軽減など保護者の経済的負担を軽減すべきと考えるが認識を伺う。</p> <p>5 生命の安全教育教材の活用について</p> <p>令和3年第2回定例会の一般質問において、子どもたちを性犯罪・性暴力から守る取組みとして、生命の安全教育教材の活用について提案しました。全国各地で保育園や学校等での性犯罪・性暴力の報道が後を絶たない中、子どもたちを性犯罪・性暴力から守る取組みは急務であります。</p> <p>そこで、保育園・幼稚園及び小中学校での、生命の安全教育教材の活用状況について伺います。</p> <p>(1) 保育園・幼稚園での活用状況について伺う。</p> <p>(2) 小中学校での活用状況について伺う。</p>	

通告番号	会派名	氏名
17	起風会	鈴木 誠

項目番号	質問要旨	摘要
1	<p>防災に関する稲城市の取り組みについて</p> <p>今夏は平成30（2018）年7月以来、実に4年ぶりとなる稲城市消防団消防操法審査会が実施され、コロナにより中止延期が続いていた各種行事に対しても「やればできる」ことを市民の生命を守る防災面から発信出来たのは大変良いことだと考える。行事再開については後段に譲るとして、</p> <p>（1）救急車の出動件数変移について 昨年の令和3年第2回定例会では、コロナ禍の影響により令和元年に比べて令和2年が10%以上も救急車出動件数が減ったことを確認したが、 ①その後、一昨年に比べて件数や事例等について変化はあるのか伺う。 ②第七波と呼ばれる状況がまだ過ぎていないところではあるが、直近の出動傾向を伺う。</p> <p>（2）防災行政無線の活用について 災害や防犯等は勿論、一般行政事務で市民に伝える必要な情報を伝える大切な防災行政無線であるが、 ①7年前に市内各所にお住まいの市民の協力で実証実験を行った防災ラジオ（防災行政無線戸別受信機）だが、その後の経過を伺う。 ②デジタル化し、混線等の問題が解消されてきているが、音量等含め市民からの苦情等はどうか。 ③夕刻時に市防災行政無線放送で曲を流しているが、改めて曲を流す理由、また曲に『夕焼け小焼け』が採用された経緯を伺う。 ④同曲を流す時間帯や曲の変更、メッセージ等の追加が可能であるのか伺う。 ⑤昨年発表された稲城市歌を防災無線点検に利用することについて見解を伺う。</p>	

2	<p><u>民生・児童委員の担い手確保について</u></p> <p>高齢化の進展に伴う民生・児童委員のなり手不足については以前より懸念されており、市議会でも取り沙汰されてきている。しかし、特にここ数年の改選期にあたっては新たな担い手の確保に四苦八苦されているという地域からの声が届けられているが、</p> <p>(1) 民生・児童委員の市における役割、立ち位置、年齢要件について市の認識を伺う。</p> <p>(2) 稲城市における民生・児童委員の充足率、年齢構成はどのような状況で変化して来たか伺う。</p> <p>(3) 民生・児童委員に対する活動費等の支給内容について詳細を伺う。</p> <p>(4) 民生児童委員の組織維持における課題をどう捉えられているか伺う。</p>	
3	<p><u>稲城第二中学校校舎改修工事について</u></p> <p>長年に渡り同件を取り上げ続け、ついに本年度には稲城第二中学校屋上防水・外壁改修の工事設計が行われているところだが、</p> <p>(1) どのような方針、内容で工事設計の構想をされているのか伺う。本年度は調査設計段階であるが、今後のスケジュールはどのようにするつもりか伺う。</p> <p>(2) 今後の工事スケジュールはどのようにされるつもりであるか伺う。</p> <p>(3) 学校側、生徒側、PTA側それぞれからのヒアリング状況について伺う。</p>	

南山地域の自治会、自主防災組織の結成について

南山東部土地区画整理事業は平成18（2006）年に事業認可され、長い月日を経て平成27（2015）年には南山小学校が開校しPTAではないもののサポートチームが結成されている。その後も同地域の入居者数は増え続けてきているが、

（1）これまでのニュータウン地域における自治会、自主防災組織の結成について

過去には向陽台、長峰、若葉台と新たなニュータウン地域に設置されてきた稲城市であるが、

- ①当該3地域の自治会や自主防災組織は、街開きからどれくらいの時期を経て結成されているか伺う。
- ②同上、それらはどのような経緯で立ち上がっていたのか伺う。

（2）南山地域の現状について

昨年10月から計3回の稲城市住所整理地区市民検討会が開催され、今年に入ってから『住所整理ニュース』も2度配布。当該地域の住民の方々からは自治会や自主防災組織の立ち上げの声があり、私自身も直接伺っているが、

- ①大丸・百村・東長沼・矢野口・押立が住所整理対象区域に指定されているが、現在までに開催されている市民検討会ではどのような声があるか伺う。
- ②市として南山地域における自治会設立の必要性についてどのように考えているか伺う。
- ③自主防災組織が立ち上げられる前でも、防災・備蓄倉庫等の設置要望は可能であるか伺う。
- ④仮称・南山ボランティアの会を立ち上げようという前向きな声もある中、大字としては3つにまたがる南山地域であるが、住所整理前であっても地域として自治会・自主防災組織等の市から支援を受けられる組織を立ち上げることは可能であるのか伺う。

コロナ禍からの市内各種行事復活について

令和2年4月7日に初の緊急事態宣言が発令されて以来、早くも2年半近くに及ぼうとしている。我々大人自身も会合や遊興娯楽に制限を受けているわけであるが、特に成長過程で重要な青少年の育成事業が出来ず、場合によっては『物心ついて以降、お祭りや旅行等を体験したことがない子供』が出始めてしまっているとの話も聞くが、

(1) これまでの対応結果について

緊急事態宣言や蔓延防止措置等で致し方ない面もあったと思うが、

- ①令和2年度以降、主な市主催行事で中止または縮小・変更をしたものは何があるか伺う。
- ②中止・縮小・変更などによって市民の反応はどうであったか伺う。

(2) 今後の対応方針について

本年5月のゴールデンウィークでは『稲城手づくり市民まつり2022』が関係各位の英断と努力によって挙行され、こうした状況下でも行事が出来る良い例になったと思うが、

- ①本年度内、まだ市民まつりや成人式等の大きな行事がいくつか残されているが、現時点での開催可否、方法等はどのように考えているか伺う。
- ②この3年で伝統文化継承、人々の絆は大きなダメージを受けた。「ウイズコロナの姿勢で復活させよう!」と各地域に再度テコ入れをする必要があるが、市としてどのようなことが可能か伺う。